

氏 名 ふ り が な	野 本 恵 司 の も と け い じ	職 名	准教授
取得学位	博士（学術）・広島大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程、修士（リハビリテーション科学）・聖隷クリストファー大学、学士（経済学）・神奈川大学		
学 歴	広島大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程		
受賞歴等	・第73回国立病院総合医学会「リハビリテーション 11 人材育成」部門 ベストポスター賞 ・第1回東海フレンドリーカップ スポールボール選手権大会 優勝 ・第22回全日本スポールボール選手権大会 トラディショナルダブルス 準優勝 ・プールリーグプレ日本シリーズ 準優勝 ・第1回美し国みえ杯 スポールボール西日本選考大会 トラディショナルダブルス 準優勝 ・プールウエスタンリーグ トパーズ杯 2021 トラディショナルシングルス 3位 ・プールウエスタンリーグ 2021 年度 MVP ・第23回全日本スポールボール選手権大会 トラディショナルダブルス 3位 ・第25回全日本スポールボール選手権大会 トラディショナルダブルス 準優勝		
所属学会	日本言語聴覚士協会、日本摂食嚥下リハビリテーション学会		

教 育 活 動
（主な担当科目） 2025 年：「神経系の構造・機能・疾病」、「解剖学」、「生理学」 「嚥下障害学Ⅰ」、「嚥下障害学Ⅱ」、「嚥下障害学Ⅲ」 「高次脳機能障害学Ⅰ」、「言語聴覚障害学総論」、「呼吸発声発語系の構造・機能・疾病」 「リハビリテーション医学・臨床神経学」、「地域言語聴覚療法学」 「専門演習ⅠA」「専門演習ⅠB」「専門演習ⅡA」、「専門演習ⅡB」 「卒業研究」、「臨床実習」 2024 年：「神経系の構造・機能・疾病」、「解剖学」、「生理学」 「嚥下障害学Ⅱ」、「嚥下障害学Ⅲ」、「高次脳機能障害学Ⅰ」 「リハビリテーション医学・臨床神経学」、「専門演習ⅠA」「専門演習ⅠB」 「専門演習ⅡA」、「専門演習ⅡB」、「卒業研究」 「臨床実習」 2023 年：「呼吸発声発語系の構造・機能・疾病」、「神経系の構造・機能・疾病」、「解剖学」、 「生理学」、「嚥下障害学Ⅱ」、「嚥下障害学Ⅲ」 「高次脳機能障害学Ⅰ」、「リハビリテーション 医学・臨床神経学」、「専門演習ⅠA」「専門演習ⅠB」 「専門演習ⅡA」、「専門演習ⅡB」、「卒業研究」 「臨床実習」



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

2022 年：「呼吸発声発語系の構造・機能・疾病」、「神経系の構造・機能・疾病」、「解剖学」
「生理学」、「嚥下障害学Ⅱ」、「嚥下障害学Ⅲ」
「言語発達障害学Ⅴ」、「専門演習ⅠB」、「専門演習ⅡA」
「専門演習ⅡB」、「卒業研究」、「基礎ゼミナール」
「臨床実習」

2021 年：「呼吸発声発語系の構造・機能・疾病」、「神経系の構造・機能・疾病」、「解剖学」、
「生理学」、「嚥下障害学Ⅲ」、「言語発達障害学Ⅴ」
「専門演習ⅠB」、「臨床実習」

(その他)

・認知症アドバイザー

研 究 活 動

(著書等)

- ・「言語聴覚士のための摂食・嚥下障害学」(医歯薬学出版株式会社) 2018/9
- ・「セラピストのためのリハビリテーション医療—すぐに役立つ実践書」(永井書店)2017/12
- ・「訪問で行う摂食・嚥下リハビリテーションのチームアプローチ」(全日本病院出版会)2007/9

(論文等)

- ・ティール動作における上下肢の経時的な筋活動パターンについて, スポールブルサイエンス Vol. 4, 2023/9
- ・コンビネ種目用コンパスの開発, スポールブルサイエンス Vol. 4, 2023/9
- ・ティール 50cm Distance の実践報告-記録の重要性と課題について-, スポールブルサイエンス Vol. 3, 2022/9
- ・スポールブルコートボール止めの製作, スポールブルサイエンス, Vol. 2, 2021/10
- ・スポールブルの普及に向けた現状調査-2019 年度アンケート調査より-, スポールブルサイエンス Vol. 2, 2021/10
- ・スポールブルの実践が精神活動にもたらす効果, スポールブルサイエンス Vol. 2, 2021/10
- ・スポールブルを通して肩関節周囲炎(五十肩)が改善した 1 例, スポールブルサイエンス Vol. 1, 2020/3
- ・日本のティール・ポワンテ率の現状と課題(2019 年) -第 20 回全日本スポールブル選手権大会(コンビネ)の結果から-, スポールブルサイエンス Vol. 1, 2020/3
- ・スポールブルの運動強度と健康増進について, スポールブルサイエンス Vol. 1, 2020/3

(研究発表等)

- ・質問紙による臨床評価と OSCE を柱としたクリニカルラダーシステムの考案 2019/11

(特許)

- ・会話処理装置(ユーザとロボットが音声で対話する音声対話システム、トヨタ自動車株式会社との共同開発)、特許番号：特許 6709558 2020/5



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

(その他)

- ・2025 年 3 月 臨床実習指導者講習会修了
- ・2021 年 11 月 国リハ式＜S-S 法＞言語発達遅滞検査講習会修了
- ・2018 年 12 月 日本学術振興会 研究倫理 e ラーニングコース修了

社 会 活 動

- ・東海学院大学市民公開講座「もしかして認知症？」～認知症の正しい理解と対応・予防法について知る～ 2024/10
- ・令和 6 年度岐阜県私立大学地方創生推進事業
「発達障害児および地域認知症者に対する言語聴覚士のサービス向上と卒後教育」
- ・2024 年度 認定言語聴覚士講習会「摂食嚥下障害領域 症例検討」講師 2024/10
- ・令和 5 年度岐阜県私立大学地方創生推進事業
「地域認知症高齢者及び発達障害児に対する岐阜県の言語聴覚士のサービスの向上と連携の構築」
- ・2023 年度 認定言語聴覚士講習会「摂食嚥下障害領域 症例検討」講師 2023/10
- ・特定非営利活動法人 作業療法支援ネット 2022 年秋号 (No. 11) マイリハ「食事を楽しむために (簡単嚥下訓練、認知症の摂食・嚥下障害、言語療法士の仕事)」2022/9
- ・令和元年度独立行政法人国立病院機構東海北陸グループ医療職(ニ)等スキルアップ研修
「嚥下・呼吸聴診法」講師 2019/12
- ・2019 年度 認定言語聴覚士講習会「摂食嚥下障害領域 症例検討」講師 2019/12
- ・国立研究開発法人 国立長寿医療センター 高齢者医療・在宅総合看護研修 講師
「嚥下リハビリテーション」2019/10
- ・第 25 回 日本摂食嚥下リハビリテーション学会シンポジウム 1
「終末期の認知症高齢者に対する摂食嚥下のケア」 2019/9

